|  |
| --- |
| 会議の結果 |
| 件　　　名 | 令和３年度田辺市社会教育委員会議　第５回定例会 |
| 日　　　時 | 令和４年１月17日（月曜日）　　午前10時30分～11時30分 |
| 場　　　所 | 田辺市民総合センター　４階交流ホール |
| 出　席　者 | ○社会教育委員出席者10名：　松場議長、尾崎副議長、稲垣委員、加藤委員、小山委員、近藤委員、佐久間委員、中根委員、西川委員、柳川委員欠席者３名：　砂野委員、坂本委員、九鬼委員○事務局７名：　佐武教育長、前川教育次長、狼谷生涯学習課長、那須生涯学習推進係長、尾﨑公民館係長、遠山公民館係主査、澤本生涯学習推進係主事 |

１．開会　教育長挨拶

２．議長挨拶

３．説明事項・報告事項

（１）第21回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会について

（２）第48回新春田辺長距離走大会の結果について

（３）文化振興課の行事予定（２～３月）について

（４）南方熊楠顕彰館の行事予定（１～２月）について

以上の項目について、事務局より一括して説明及び報告を行った。質疑応答における委員からの発言はなかった。

４．協議

（１）生涯学習推進計画素案検討部会について、事務局より会議結果報告を行った。

【質疑応答・主な意見】

議長： 今回初めて、西川先生がいらっしゃらない地域シンポジウムに参加させていただいたんです

が、その地域の地域カルテを読み込んでお話をしてくださっているので、地域の方々は熱心

に先生のビデオを聞いておられました。これについて、何かご質問ありますでしょうか。

A委員：質問というか、気づきになるんですけれども、紀伊民報のみなべ版でこのシンポジウムのこ

とが大きく掲載されていました。私の捉え方だったんですけれども、こういうシンポジウムが

龍神地域だけではなくて他の地域でもやるんだよということは読み取れなくて、せっかくなの

にちょっともったいないなと、単なる、龍神でこういうことをやってこういう意見が出ました、

で終わっていたので、少しもったいないなと思いました。私自身は、２月の地域シンポジウム

に出席させていただくので少し遅れているので、キャッチアップしてしっかり務めさせていた

だきたいと思います。

B委員：今の件についてなんですけれども、私も読んでいて、イメージがちょっと違うかなというのが

正直なところで、一つは地域カルテの存在というのがうまく伝わっていないなという部分と、

大きな取組みの一環であるということが見えにくいなというのがあります。業務上の関係もあ

るんですけれども、こちらでは一つの公民館の催しという認識なんですけれども、龍神の方に

行くと割と大きな話になったという、そういう風な見方の違いというのもあるとは思います。

とはいえ、市民の皆さんの認識がこのくらいなのかなと、合わせ鏡のように映しているという

状況にもなっているので、今後社会教育委員会議全体のテーマとして、一部の取り組みではな

くて、大きな取組みの一つだということを、どうやって浸透させていくのかということを考え

させていただきたいなと思います。

C委員：えーと、この間は西川先生をはじめ、近藤委員さんと事務局の職員の方には、夜に龍神まで来

ていただいてありがとうございました。無事龍神もシンポジウムが済んで、私自身も社会教育

委員の仕事をしたという気持ちだったんですけれども、龍神はまとめる地域がすごく広いので、

７分館あるのを一つにまとめてシンポジウムをしたという点では、地域にとっては大きなこと

だったなと思うんですけれども、出席いただいていたのが、地域をよく知っておられる方がほ

とんどだったので、まとめ方や話し方が上手で、タイムスケジュールどおりに進んで、すごく

良い意見がたくさん出て良かったと思うんですけれども、子育て世代でＰＴＡから参加があっ

たのが２名だったんです。やっぱり、仕事も働き盛りで、子供の習い事や色んな用事がある中

で、その時間を割いて出てくるというのが難しいんだろうなとも思いますし、そのうちの１名

は「こんなことすると思ってなかったよ」と言いながらグループワークをしていました。あと

は、少し耳が遠い方がいらっしゃるグループで、話し合うということが難しいグループがあっ

たんです。ただ、その方のことをよく知っていらっしゃる方がいたので、うまく最後まとめて

くれたんですけれども、なかなか皆さんで意見を和気あいあい出すという場ではなかったグル

ープもあって、残念ながらＰＴＡの保護者の方も途中から退室されていたのが気にはなりまし

た。私たち世代の意見もあれば、色んな意見が違った視点で出たんだろうなと思うんですけれ

ども、どんなふうに今後意見をくみ取る機会があるのかとか、私の中でここは課題かもしれな

いなと思いました。目の前で龍神分館で、元議長の久保さんがニコニコしながらうなづいて聞

いてくださっていたので心強かったですし、西川先生も龍神なりの地域カルテをうまく意見と

してまとめてくださっていたのも、皆さんうなづいて聞いていたのも印象的でしたし、一番感

動したのは、近藤委員が９年前の龍神のシンポジウムで出た意見をまとめてメモで持ってきて

くださっていて、それを各グループに話してくださっていました。私自身は、この９年間で結

婚や出産があって、全然自分の中で９年前の記憶がないのが恥ずかしかったんですけれども、

そこまでしてくださっているのがありがたかったですし、最後の分館長代理の挨拶の中でも、

やっぱりふるさとのことを話し合うとすごく皆さんの意見が出るなという、その挨拶が温かか

ったですし、自分も色々仕事とかも調整もしながら出席するシンポジウムで色んなことを感じ

ていけたらなと思います。ありがとうございました。

議長：初めて社会教育委員としての仕事をしたような気がする、というようなお声をいただきまして、

皆さんお忙しい中、コロナが流行っている中、委員の皆さんに参加をお願いするのも大変だと

思っておりますけれども、これを機会に自分の住んでいるところもそうですけれども、自分の

住んでいる以外の地域を肌で感じる良い機会ですので、できれば行きやすい日程で参加いただ

きますようお願いいたします。

D委員：私も新聞を読ませていただいて、最後に西川委員の言葉がまとめられていて、流石だなと思っ

たんです。それから、龍神って今までされてきた方が参加なさってというお話だったんですけ

れども、基盤があるのかな、と思って読ませていただいていたんです。先ほど新聞として掲載

されると、それをもとに他の地域でも同じことをやる、という話もしやすいですから、よかっ

たと思います。誰でも参加が出来る、という形が今は難しいかなと思っていて、中辺路の方も、

色んなことをやっている方々の頭になっているような方にご連絡しようかなという風にお話さ

れていたので、９年前のように広くお知らせしていないんじゃないかなと思うんです。なので、

今回は様々に困る事情もあるので、こういうことが次回にも活かせるように、私も今回行って

勉強してこようと思います。

（２．１）人材育成事業企画部会について、「激論！地元民＆移住者～田辺のええとこ わりぃとこ～」

の実施結果について説明を行った。

　　　 E委員：当日参加して思ったのが、私たちのアピール不足なのか、一般の人の参加が少なかったかな。

見回すと、行政の人や社会教育委員を合わせると、一般の方よりも多いんじゃないかという数

だったので、なかなか皆さんに知っていただくのが難しいのかなと思いました。事務局の方で

してくださった議員への呼びかけで、議員を横から見ることが出来て、ある意味もっと多くの

人に見てほしかったなと思いました。

　　　 議長：ありがとうございます。地元民と移住者の組み合わせの人材育成なんですけれど、今後移住さ

れる方が増えるだろうと個人的に思っていて、リモートワークが可能になったとか交通網が便

利になったとか、コロナの影響もあって田舎暮らしが見直されている今、こういった講座とい

うのはこれからも必要なのではないかなと思っていました。となると、参加者をどう集めるか

というのは、宿題になっていくだろうなと思っています。

　　　 F委員：議員の方が６人来られたのは初めてだったんですけれども、来てくれただけでもよかったかな

と思います。事務局の方からもありましたけれども、なかなか挙手で質問する方が少なくて、

私も手挙げた方がいいかなと思っていたんですけれども、その辺りは事前に打ち合わせをして、

参加する社会教育委員もちょっと心づもりしておくのもいいんじゃないかなと思いました。紀

伊民報の新聞で中川さんのことを知って、ある程度はわかっていたんですけれども、実際にご

本人の話を聞いて、素晴らしい若者がいるなと感じました。環境のことを考えるには、50年先、

100年先を考えないといけないということは、中川さんのお話を聞いて改めて思い浮かびまし

た。色々な面で勉強になりました。一般参加が少ないというのは、こういう講座の場合はなか

なか参加が見込めないので非常に残念ですが、何らかの形でいい方法を考えていけたらなと思

います。

　　　 G委員：議員の方の意見を聞いたのは本当によかったと思います。田辺市の先を考える事は、議員の方

だけではなくて、市全体が学んでいかなければならないことだと思うんです。地域活性とか生

涯学習関係に関いては、公民館関係の方であったり職員の方であったりに分けがちではあるん

ですけれども、これからの時代は特に、企業や産業関係の方が、こういったことに参加するこ

とによって学ぶ事も多いと思うので、職種とかそういったことではなくて、全体的に皆さんが

関わって、佐久間委員が仰ったように、色んな職種・業種からの参加者を増やすことができれ

ば、もっと加速して何か生まれてくるのではないかなと思いました。以前から林業に関しては

テレビなどでもよく取り上げられて、100年先や200年先の話をよくされていますよね。それは、

会社の継承なども含めて、一つだと思うんです。形は分かりませんけれども、ここに声掛け、

ここに声掛け、ではなくて、もっともっと色んな方に声掛けできれば、近道できるんじゃない

かなと改めて感じました。

　　　 議長：私も、職種によって新規参入しやすいところとそうじゃないところがあると思うので、その辺

りも見る必要があるかなと感じました。

　　　 H委員：私は、非常に勉強になったところが多かったです。大きくは２つあって、１つは福田さんの

「田辺ってそのブランドの服売っているの」という、東京で着歩いていても堂々といられる、

外から見ても負けていないし劣っていない、みたいな感性は、若者には大事かもしれないなと

思いました。誰かが言っていたんですが、和歌山って逆輸入精神で、外から評価されて改めて

中の人が良さに気づくみたいなことがあるということを、改めて気付かせていただきました。

もう１つが、若者が残るためには選択肢が多い方が良いんじゃないかと思っていたんですが、

中島さんのお話の中にあまり多すぎるのもしんどい、という話があって、その視点はちょっと

気付かなかったなと。あまり選択肢が多いと、決めるためのコストがかかると考えると、ほど

ほどの選択肢の方が良いというのが、今までの自分の考え方になくて、気付かせていただきま

した。一般参加については、大学でも色んな講義をやってもなかなか集まらないのですが、一

方で、こういうシンポジウムを聞いてほしいのは誰だろう、と考えたときに、まず今回市議会

議員の方に、社会教育委員側から発信できたということは、大きな意義があったんじゃないの

かなと思います。あと、中根委員の意見を聞いて思ったのが、異業種でやっても面白いのかな

と。学校に出張して講座をするというのは、ここ数年の社会教育委員のトレンドというか、学

社融合も含めて社会教育事業としてやっているというのは意義があることだと思うんですけれ

ど、経済界というか、まさに田辺で商売で戦っていらっしゃる方にも次の人材が欲しいし、そ

ういったところと社会教育がくっつくと、次の面白さみたいなのが出てくるのかなと。社会教

育って何をやっているかわからないけど、こんな若者の話を聞いて、次の人材を作っているの

かということを気付いてもらったら、また公民館や社会教育の見方が変わってくると思うので、

そういう意味では、異業種にもつなげていったらいいのかなと思いました。

　　　 D委員：一般の参加って、たくさん来てくれたらいいなと思うんですけれど、私自身が一般だなって思

いながら聞いていたんです。あの場で話されていた方々を知らなかったので、知らないことを

たくさん知って、あの後帰って、自分の友人に話したんです。その話をしたということが大き

な成果だったんじゃないかなと自分自身は思うので、レベルでいうと小さなところですけれど、

結局その小さなところがたくさん集まるともうちょっと広がっていくので、若い人が少なくて、

ほとんど公民館や役場関係の人だと思うんですけれども、その方たちがそこで聞いたのは、一

般の方たちが聞いたのと一緒じゃないかなと思うんです。たとえ役割として来ていたとしても、

そこで色んな話が頭の中に入って、そこから知人とかに広がっていくかもしれないじゃないで

すか。そういう小さなことの繰り返しでも、今はやらないと仕方がないかなと思っています。

　　 副議長：今の話を聞いていて、誰に聞いてもらうかというのは大事だなと思いました。先日の講座につ

いては、後から福田さんに感想を聞いてみたら、すごい面白かったと言っていました。熱い人

で、地域や若者に対する想いというのは、ああいう風に考えていたんだなというのは知れてよ

かったし、そういうことを思いながら商売をされているというのはすごい心強いという気はし

ました。話す側も良い気づきがあったようですし、もちろん我々聞いている側も良かったし、

近藤委員が市議会議員の方に質問を振ったのはファインプレーだったなと。それと、先ほどの

西川委員の話ですが、ＪＣが一時、高校に出向いていって自分の経験を話す、というのをやっ

ていたんですが、あれってものすごい良いことだなと思っていて、身近のＪＣ世代の人が地元

で仕事をしているのを、リアルに自分の経験で語るという、今我々がやっていることもそれに

近いとは思うんですけれども、そんなこともできたらいいなと思いました。

　　　 E委員：議員さんのお話が出ていたので、アンケート結果の中に補助金申請か何かの時に参考にしたい

という意見が出ていたように思うんです。それは違うだろうと思って、これはあまり行政の方

は参考にしないで、この事業をやればお金が出ますよ、というのとは違った方向で拡げていく

のを希望します。アンケートをそのまま受け取らないでいただきたいです。

（２．２）高校出張講座【田辺高校編】及び田辺の明日を考えるシンポジウムについて、説明を行った。

質疑応答はなかった。

５．その他

　・F委員より、田辺市総合計画審議会についての報告があった。

６．閉会　副議長挨拶